

鎌倉と江ノ島

右城 猛

まえがき

6月19日に地盤工学会主催の講習会が東京であり、その講師をすることになっていた。その前に東京に住んでいる娘や孫に会うことにした。

17日の日曜日、高知龍馬空港7時35分発のANAで羽田空港に行き、京急で横浜に出て、JR横須賀線で鎌倉に行く。

鎌倉駅で娘たちと合流し、今の季節はアジサイで有名な長谷寺、そして海鮮料理を食べるために江の島に行ってきた。

江ノ島電鉄

鎌倉駅から江ノ島電鉄に乗って長谷寺駅に行く。丁度アジサイのシーズンで日曜日とあって見物客が多い。江ノ島電鉄の鎌倉駅のホームは身動きできないほどの人で溢れていた。

江ノ島線の沿線には、電車が来るのを待ち構えているカメラマンが大勢いた。大した電車でもないのになぜこれほど人気があるのか不思議である。



江ノ島電鉄の電車



長谷駅で下車

長谷寺

長谷寺(はせでら)は真言宗豊山派の寺。総本山は奈良にある長谷寺。本尊は十一面観音菩薩(長谷観音)。頭の上に11の顔を持っている。長谷観音の高さは9.18m。木造では日本最大。

境内の斜面を利用して眺望散策路が作られている。散策路の周辺には40種類、2500株以上のアジサイが群生しており、今の季節は「アジサイの小径(こみち)」となり見物客で賑わう。



江ノ島電鉄長谷駅から約10分歩いて長谷寺に到着。参道も人出でいっぱい。



長谷寺の境内は、アジサイ見物客で溢れていた。一人 300 円の入場料を払って境内に入ると、224 の数字が印刷された紙製の団扇が渡された。

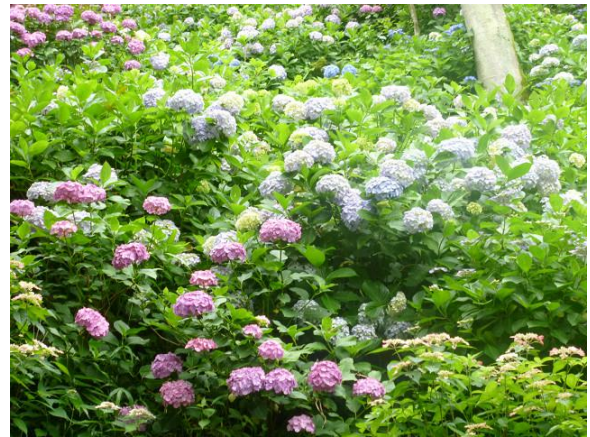
斜面に作られた散策路の入り口で、待ち時間を示した案内表示があった。団扇の数字が1つ違うと 15 分の時間差がある。散策路を通行するのに要する時間が 15 分ということのようである。



私たちの 224 番は 135 分以上の待ち時間という計算になる。



祐希は水遊びが大好き。仏足石の上面に溜まっている水をバシャバシャと手で叩いて大喜び。服はビショビショ。



40 種類、2500 株以上という散策路のアジサイの群生。



散策路の出口。



まわり堂の中にある輪蔵

蔵の中には一切経が納められていて、時計回りに 1 回まわすと一切経を一通り読んだと同じ功德があると言われている。

ネパールの寺院にあるマニ車と同じである。



長谷寺の境内には菖蒲も咲いて見頃であった。

12 時になっても散策路に入場できるのはまだ 1 時間 15 分以上先のこと。

境内には食事処「海光庵」があるが、ここも長蛇の列。

祐希を連れて斜面の散策路を歩くのは大変ということで、江の島に行って海鮮料理を食べることにする。



長谷駅への帰り道、アイスクリームを食べる。祐希は初挑戦。

江の島

長谷駅から再び電車に乗って江の島駅に行く。朋男君は「生しらす丼」を食べるのが楽しみということであった。



電車の中の祐希



湘南海岸では沢山のサーファーが波乗りを楽しんでいた。

沖には、無数のヨットが白い三角の帆をなびかせていた。田舎とは数が違う。さすが湘南海岸だと思った。



江ノ島電鉄の江の島駅から江の島まで結構な距離がある。祐希を連れて歩くのは大変である。



本土と江の島を結ぶ「江の島弁天橋」



生しらすも入った海鮮丼



江の島弁天橋のたもとで記念撮影



「しらす」は江の島の名物。参道の周りには、「生しらす有ります」「食べ放題 しらす丼」と言った標識が沢山出されていた。

「しらす」は鰯の稚魚のこと。「生しらす」は高知の「どろめ」。「釜揚げしらす」と呼んでいるのは、高知の「釜揚げ」あるいは「ちりめん」である。

高知ではありふれた「ちりめんじゃこ」であるが、「所変われば品変わる」ということかと実感させられた。



江の島弁天橋を渡って直ぐに大きなレストラン「貝作総本店」があった。そこで昼食をとることにする。

既に時間は1時を過ぎている。何はともあれ、先ずは生ビールを注文。「生しらす」が残り少なくなっているので「生しらす丼」はできないが、生しらすが少し入った海鮮丼ならできるので、3人は海鮮丼、家内は「釜揚げしらす丼」を注文する。



祐希は携帯電話やパソコンが大好きであるが、カメラにもとても興味を示す。どんな大人に成長するのだろうか。将来が楽しみである。



どんどん階段を上る祐希



江の島神社(辺津宮へつみや)に上がる階段。エスカレーターで登ることもできる。



江の島神社の境内に到着。



祐希の足腰が異常に強いのは朋男君の血をひいているためだろうか。家内は幼稚園に勤務していた経験があるので、祐希の足腰の強さがよく分かるのだろう。驚いていた。



家内安全を祈願。



江の島の頂上付近に「亀ヶ岡広場」という休憩スポットがある。そこに池があり、ミドリ亀(赤耳亀)が数匹いた。近づくと逃げると思いきや、ここの亀は近寄ってくる。餌付けされているのだろうか。しばしの間亀と戯れる。



江の島の頂上にある「サムエル・コッキング苑」に入る。明治時代の英国人貿易商人サムエル・コッキングが作った日本最初の西洋庭園。



猫と戯れる祐希



江の島展望灯台からの眺望。



江の島ヨットハーバー。



ママを叩いて喜ぶ祐希のわんぱくぶり



江の島展望塔台の展望台



17時、電車に乗って鎌倉に向かう。

(2012年6月24日)